１３年間を見通した，幼児教育・生活科・総合的な学習の時間における育成を目指す資質・能力系統表

幼稚園における「資質・能力が身についた

園児の姿」を付加

佐伯市教育委員会

学校を核とした「ふるさと創生プラン」作成会議

|  |  |
| --- | --- |
| 「ふるさと創生事業」で目指す姿 | ふるさとを愛し，ふるさとの未来を創造する力 |
|  |  |
| 校　　　種 | 幼稚園ふるさとであそぶ　ふるさとにふれる　　ふるさとを感じて・知る　　ふるさとについて考え・伝える　ふるさととともに未来を描く　ふるさとに向けて行動に生かす | 小学校 | 中学校 | 高等学校 |
| 段　　　階 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 視　　点 | 資質・能力が身についた児童・生徒の全体像 | 資質・能力が身についた園児・児童・生徒の姿 |
| 【Ａ】何を理解しているか，何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得） | ①知識・技能 | ○ふるさとのもの・人やそれらに対する思い・願いを理解している。○探究の過程に応じた技能を身につけている。 | 豊かな体験を通じて，感じたり，気付いたり，分かったり，できるようになったりする。「知識及び技能の基礎」幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿 | ア　ふるさとには何があるか，それがどのような関係にあるか気付く。イ　自分自身の成長に気付く。ウ　活動や体験を通して，習慣や技能を身につけている。 | ア　ふるさとには何があるか，その特徴がわかる。イ　情報を比較・分類するなど，探究の過程に応じた技能を身につけている。 | ア　ふるさとで暮らす人々やその土地の良さがわかる。イ　情報を比較・分類・関連づけるなど，探究の過程に応じた技能を身につけている。 | ア　ふるさとと社会との関わりがわかる。イ　情報を比較・分類・関連づけ・多面的にみるなど，探究の過程に応じた技能を身につけている。 | ア　ふるさとと自分との関わりがわかる。情報を比較・分類・関連づけ・多面的・構造化するなど，探究の過程に応じた技能を身につけている。 |
| 【Ｂ】理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成） | ①課題の設定 | ○物事を多面的に見たり考えたりして，課題を設定し追究している。 |  気付いたことや，できるようになったことなどを使い，考えたり，試したり，工夫したり，表現したりする「思考力，判断力，表現力等の基礎」 | ア　ふるさとに関心を持っている。イ　身体全体でふるさとと関わっている。ウ　すすんでふるさとに働きかけている。 | ア　自分の関心からふるさとについての課題を設定し，解決方法を考えて追究している。 | ア　ふるさとの思いをふまえて課題を設定し，解決方法や手順を考え，見通しを持って追究している。 | ア　ふるさとと社会との関わりを考て課題を設定し，仮説を立てて検証方法を考え，追究している。 | ア　ふるさとの未来に向けた課題を設定し，立てた仮説に適合した検証方法を明示して追究している。 |
| ②情報の収集 | ○多様な着眼点から情報を収集している。 | ア　教師の支援により手段を選択し，情報を収集している。 | ア　自分なりの手段を選択し，情報を収集している。 | ア　目的に応じて手段を選択し，情報を収集している。 | ア　目的に応じて臨機応変に適切な手段を選択し，情報を収集している。 |
| ③整理・分析 | ○自分の考えを，経験や知識と結びつけて分類・整理するなどして情報を扱っている。 | ア　比較したり分類したりして対象を捉えている。イ　違いに気付いたり良さを生かしたりして他者と関わり合い，試したり予測したりして創造している。 | ア　問題状況における事実や関係を，事象を比較したり分類したりして理解し，多様な情報の中にある特徴を見付けている。 | ア　問題状況における事実や関係を，整理した情報を関連づけて理解し，多様な情報の中にある特徴を見付けている。 | ア　複雑な問題状況における事実や関係を，事象を比較したり因果関係を推論したりして理解し，視点を定めて多様な情報を分析している。 | ア　複雑な問題状況における事実や関係を，比較したり因果関係を推理したりして自分の考えを形成し，視点を定めて多様な情報から帰納的・演繹的に考えている。 |
| ④まとめ・表現 | ○目的や意図に応じて，効果的に自分の考えをまとめ，表現している。 | ア　まとめたものを相手に伝えたり，交流したりして，表現している。 | ア　相手に応じてわかりやすくまとめ，表現している。 | ア　相手や目的、意図に応じてわかりやすくまとめ，表現している。 | ア　相手や目的，意図に応じて論理的に表現している。 | ア　相手や目的，意図に応じて根拠を示して論理的に表現している。 |
| ⑤ふり返り | ○探究の過程をふり返り，自己の学びを深めている。 | ア　活動や体験をふり返り，生活に生かそうとしている。 | ア　学習したことをふり返り，生活に生かそうとしている。 | ア　学習の仕方をふり返り，学習や生活に生かそうとしている。 | ア　学習の仕方や進め方をふり返り，学習や生活に生かそうとしている。 | ア　学習の仕方や進め方を内省し，現在及び将来の学習や生活に生かそうとしている。 |
| 【Ｃ】どのように社会・世界と関わり，よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養） | ①主体性 | ○より高い目標を立て，努力しようとしている。 | 心情，意欲，態度が育つ中で，よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力，人間性等」 | ア　自分のよさや可能性を生かして，意欲と自信をもって生活しようとしている。 | ア　課題の解決に向けて，探究活動に取り組もうとしている。 | ア　課題の解決に向けて，探究活動に進んで取り組もうとしている。 | ア　課題に誠実に向き合い，解決に向けて探究活動に進んで取り組もうとしている。 | ア　課題に真摯に向き合い，より適切な解決に向けて探究活動に進んで取り組もうとしている。 |
| ②自己理解 | ○自分の長所や短所を理解し，自己の生き方を考えている。 | ア　自分のよさや自分のできることに気付き，課題解決に向けて取り組んでいる。 | ア　自分らしさを発揮して探究活動に向き合い，課題解決に向けて取り組んでいる。 | ア　自分のよさを生かしながら探究活動に向き合い，責任をもって探究活動に取り組んでいる。 | ア　自分の特徴を生かし当事者意識を持って探究活動に向き合い，計画的に着実に探究活動に取り組んでいる。 |
| ③内面化 | ○経験したことを自分に生かし，次の課題に取り組もうとしている。 | ア　探究的な課題解決の楽しさを味わい，次の課題に取り組もうとして　いる。 | ア　探究的な課題解決の経験を自信につなげ，次の課題へ進んで取り組もうとしている。 | ア　探究的な課題解決の経験を自己の成長と結びつけ，次の課題へ積極的に取り組もうとしている。 | ア　探究的な課題解決の経験の蓄積を自己肯定へとつなげ，さらに高次の課題に取り組もうとしている。 |
| ④協同性（協働性） | ○課題解決に向けて，他者と力を合わせて考え，実行しようとしている。 | ア　身近な人々やふるさとに関わり，集団や社会の一員として適切に行動しようとしている。イ　身近な自然と関わり，自然を大切にしたり，遊びや生活を豊かにしたりしようとしている。 | ア　課題解決に向けて，身近な人と協働して探究活動に取り組んでいる。 | ア　課題解決に向けて，他者と協働して探究活動に取り組んでいる。 | ア　課題解決に向けて，互いの特徴を生かして協同的に探究活動に取り組んでいる。 | ア　課題解決に向けて，互いを認め特徴を生かし合い，協同的に探究活動に取り組んでいる。 |
| ⑤他者理解 | ○自分と異なる意見に耳を傾け，様々な立場の人から学ぼうとしている。 | ア　自分と異なる意見や考えがあることを知り，探究活動に取り組もうとしている。 | ア　異なる意見や他者の考えを受け入れながら，探究活動に取り組もうとしている。 | ア　異なる意見や他者の考えを受け入れながら，探究活動に向き合い，互いを理解しようとしている。 | ア　異なる意見や他者の考えを受け入れながら，探究活動に向き合い，互いを尊重し理解しようとしている。 |
| ⑥地域貢献 | ○伝統・文化の継承，ふるさと・社会との繋がりや発展について考えている。 | ア　自分とふるさととのつながりに気づき，ふるさとの活動に参加しようとしている。 | ア　自分とふるさととのかかわりを考えながら，進んでふるさとの活動に参加しようとしている。 | ア　ふるさとと自分・社会とのかかわりを考えながら，積極的にふるさとの活動に参加しようとしている。 | ア　ふるさとと自分とのあり方を考えながら，よりよい社会の実現に向けて活動に参加しようとしている。 |